瀬川清子 女性初の民俗学者。最初の「海女記」と最後の「女の民俗史」が高く評価された。

せがわきよこ

日清戦争終 1895 = 秋田県鹿角市毛馬内で、生まれる。本名キヨ。

日露戦争始 1904 = 9歳 :

日露戦争終 1905 = 10歳 :

伊藤博文暗殺 1909 = 14歳 : 毛馬内尋常高等小学校を卒業し、同校の准訓導を勤めたのち、

明治天皇没 1912 = 17歳 :

大正政変 1913 = 18歳 :

正教員の資格をとって、訓導となり、

ロシア革命 1917 = 22歳 : 同じ訓導の瀬川三郎と結婚。

原敬首相暗殺 1921 = 26歳 :

水平社結成 1922 = 27歳 : 女子も大学に入れるという新聞記事を見て、夫と上京し、東洋大学専門部東洋倫理学科に入学。

円本時代始 1926 = 31歳 : 卒業し、東京市立第一中学校の教師となる。

この間、ふとしたことから海女の写真を目にし、民俗学に興味を抱くようになり、

満州事変 1931 = 36歳 :

国際連盟脱退 1933 = 38歳 : 柳田国男の民俗調査に参加、

日中戦争始 1937 = 42歳 : *能田多代子らと日本民俗学講座夫人座談会(のち女の会)を設立、中心となって指導する一方、石川県舳倉島の海女の生活をはじめ、全国各地の海女の実態調査を行い、

大政翼賛会 1940 = 45歳 :

日米開戦 1941 = 46歳 :

1942 = 47歳 : *「海女記」を刊行、学界から高い評価を受ける。

創価学会検挙 1943 = 48歳 : 続いて、「販女」を発表。

年金+総武装 1944 = 49歳 : 市立一中を退職し、大妻女子大学で教えるようになる。

敗戦 1945 = 50歳 :

極東裁判決 1948 = 53歳 : 「きもの」再版、

三大事件 1949 = 54歳 :

朝鮮戦争始 1950 = 55歳 : 「販女」

独立回復 1951 = 56歳 :

55年体制始 1955 = 60歳 : (柳田と共著)「祭の話」、

国連加盟 1956 = 61歳 : 「食生活の歴史」

なべ底不況 1957 = 62歳 : 「婚姻覚書」

イヌカトラマ 1958 = 63歳 :

安保闘争 1960 = 65歳 : 大妻女子大学教授となり、

タイタイ病始 1961 = 66歳 : 「しきたりの中の女」、

美濃部都知事 1967 = 72歳 :

全共闘 1969 = 74歳 : 「沖縄の婚姻」、

大阪万博 1970 = 75歳 : 「村の女たち」、

日中国交回復 1972 = 77歳 : 「アイヌの婚姻」「若者と娘をめぐる民俗」、

石油ショック 1973 = 78歳 :

角栄金脈辞任 1974 = 79歳 : 辞任。日本民俗学会名誉会員。

ケラップール事件 1975 = 80歳 : 「日間賀島・見島民俗誌」、

田中角栄逮捕 1976 = 81歳 :

1981 = 86歳 : *「女の民俗史-そのけがれと神秘」で第20回柳田国男賞を受賞し、

1984 = 89歳 : 没した。

インターネットWikipedia、